



The service club to the YMCA  
THE Y'S MEN'S CLUB OF  
**TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ  
〒662-0977 西宮市神楽町 5-23  
西宮 YMCA 内  
Tel (0797)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ

2018年3月会報

第354号

**主 題 ・ 標 語**

国際会長(IP) Henry J.Grindheim

主 題: " Let Us Walk in the Light-Together " 「共に、光の中を歩もう」  
スローガン " Fellowship across the borders " 「国境なき友情」

アジア地域会長(AP) Tung Ming Hsiao(台湾)

主 題: " Respect Y's Movement " 「ワイズ運動を尊重しよう」

西日本区理事(RD) 大野 勉 (神戸ポート)

主 題: 2022年に向け「心身の健康づくりから、クラブの健康づくり」  
" Healthy mind & healthy body make healthy club "

副 題: 「今あるクラブを充実させ、しょうらいのクラブへ  
宝(財産)を伝承していこう！」

六甲部部长 杉本 隆人(神戸学園都市)

主 題: 「共感しあい、支えあおう」  
Empathy each other, Root y's & YMCA

宝塚クラブ会長 武田 寿子

主 題: 「次世代への継承！」Continuity to the Next Generation  
地域への奉仕、エネルギーを結集し西日本区大会を  
成功させよう

今月のテーマ :JWF(西日本ワイズ基金)すべてのものは  
神から出て、神によって保たれ、  
神に向かっているのです。  
ローマ書11:26

**2018年3月30周年記念例会**

日 時 : 2018年3月21日(祝)12:00~15:00  
場 所 : 宝塚ホテル オーシェルの間,西館9階  
登録費 : 7,000円、

ドライバー 堀江裕一 福田宏子

**第1部式典**

開会点鐘 武田寿子会長  
ワイズソング 全 員  
聖書朗読 加藤光信  
祈 禱 吉田 明  
入会式 武田寿子会長  
祝 辞 大野勉西日本区理事

30周年の歩み

お祝い演奏 ポップンリンガーズ

(休 憩)

**第2部 祝会・懇親会**

乾 杯 杉本隆人六甲部部长

会 食

チャーターメンバー紹介 多胡葉子副会長

ギター演奏とお話し 服部直樹

「人が笑顔になるとき・・・」

誕生日記念日

閉会点鐘 武田寿子会長

2017/18 役 員	会 長 武田寿子 直前会長 若林成幸 副会長 多胡葉子 書 記 若林成幸 会 計 吉田 明 堀江裕一 会計監査 加藤光信 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡 福田素子
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 福田宏子 地域奉仕・環境 多胡葉子・EMC 若林成幸 交 流・ファンド 石田由美子 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 青柳美知子 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	福田素子(2日) 吉田 明(4日) 加藤光信(12日)
2 月 実 績	例会出席者数 24名 在籍会員数 18名 出席会員数 15名 出席率 78.9% メイクアップ(内数) 0名 メネット 3名 コメント・孫メット名、ゲスト・ビジター6名 例会充足率 I 126. 3% B Fポイント 2月 3,929円 累 計 27,089円 にこにこBOX 2月 2,000円 累 計 22,750円 ファンド(物品販売) 5,000円 累 計 38,000円

## 会長のことば

1988年3月21日「宝を天に積もう」という主題を掲げ、大林正治会長のもと98名が集まり設立総会が開かれました。30年前のチャーターメンバーは青柳正志、今田稔、今西政弘、梅村薫、大石伸一、太田直宏、岡崎桂二、加藤光信、関欣人、多胡葉子、谷勲、辻建、中村和光、福田宏子、藤井良三、藤森元、森田義治、藪内正義、吉田明の20名でした。

5月22日のチャーターナイトには145名の出席者があり盛大な祝賀会が開かれ、宝塚クラブの歩みが始まりました。幸いなことにチャーターメンバーが4名今もクラブの中心となって活躍してくださり、創立当時の地域への奉仕を大切に、YMCAとともにという大切な精神が、大きな時代の変化にあってもゆるぎなく継続されていることは私たちの誇りでもあります。30年後の3月21日に30周年を迎え多くのゲストや旧メンバーをお迎えし記念例会を開催できたことは感謝です。特に今年度は「次世代への継承」という主題を掲げ、これからも宝塚クラブが存続できるように新しいメンバーをとという私たちの熱い思いがかなったのか9月に2名そして記念すべき3月21日に4名の新入会員をお迎えすることができました。これからも創立当時の熱い思いを忘れることなく宝塚クラブを新旧のメンバーが一丸となってさらに充実させてきたいものです。さあ！エネルギーを結集し6月の西日本区大会を成功させましょう。



武田 寿子

## 2月例会報告

日時 2月14日(水)宝塚ホテルゴールドの間で出席者24名(ゲスト6名)の例会がありました。

2月 TOF 例会、世界中で食事に困っている人の事を考えて絶食する例会月ですが、宝塚クラブは食事をカレーにして差額を支援金としています。

そして、ゲストスピーカーは、昨年入会した、かるがも園スタッフの西川勝久氏が就学前の障害のある子どもや、さまざまな発達上の問題のある子どもがすこやかに発達出来る様に支援する仕事の内容をプロジェクターで説明しました。



また、2月は毎年男性が楽しみにしていますバレンタインデーです。今年も期待通り宝塚ワイズ、花組からチョコレートをもらいました。



長尾 亘

## 2月第2例会報告

2月21日(水)18:30から若林宅にて第2例会が行われた。出席者は、武田会長、多胡、石田、鯖尻、福田宏子、長尾、吉田、堀江、谷川、若林 10名。議事要旨は次の通り。

### 1. 30周年記念例会

2/14、宝塚ホテルとの打合せ結果に基づき、記念例会の進行、役割分担を確認した。参加申込み期限は3/10、申込み後のキャンセル期限は3/17とする。3/14の第2例会の直前17時から準備会、参加者名簿に基づき着席順等を決める。チラシは長尾、案内状作成・送付は武田会長、当日のプログラム(次第・名簿等)は若林が担当。

### 2. 新入会者

入会希望者4名(今田和子・服部直樹(父)・服部拓磨(長男)・福家清美)の入会を承認し、3月21日記念例会時に入会式を行う。入会に際しオリエンテーションを多胡・若林で分担して行う。

### 3. 2018～19年度宝塚クラブ人事

青柳次期会長の人事案をもとに検討。一部を修正し内定した。

会長:青柳、直前会長:武田、副会:福田宏、書記:若林・重松、会計:吉田・堀江

各事業委員会(委員長のみ記載)Yサ:多胡、CS:西川、EMC:杉谷、交流:石田、ファンド:小林、ブリテン:長尾、メネット:福田素、特別事業(委員長のみ記載)NGO 連絡:鯖尻、ジャガイモ:福田肇、バザー:長尾、市民クリスマス:若林。六甲部(交流主査)武田、連絡主事:谷川、会計監査:加藤

(注)全会員がいずれかの委員会に属するが詳細は7月総会資料に記載。

### 4. 4月・5月の例会運営

4月卓話 谷川 寛氏(大阪センテニアル)  
「中東パレスチナ～最新情報」

5月卓話 内藤徹男氏

「美しい関西学院キャンパスを探訪～  
ヴォーリスを継いだ40年間のトータル  
デザイン」

### 5. バザー準備

チラシ(案)の一部修正、ラッキー券を500枚配布した。今後2500枚を分担する。

### 6. 西日本区大会の登録

大会要領に従いWEB登録を推奨。会員間で助け合って全員参加を目指す。

### 7. ブリテン編集

長尾メン準備の編集案に基づき役割分担。編集日程を確認。

### 8. 各種催しへの参加者の確認

3/11 揚がれ希望の凧(自立の家)  
防災ウオーク(売布周辺)

3/24 六甲部第2回評議会 武田・長尾・  
石田・若林・堀江・多胡・鯖尻・福田宏  
(以上のほか、出席予定者は早めに会長  
まで申し出ること)

### 9. 会計報告

吉田メンより西日本区諸献金等の支出計画の説明があり、全てを承認した。

3月入会者の入会金等:入会金 6500円、年会費(月割り後)13300円(青年会費は半額)とする。また、入会時にYMCA会員登録(10000円)を推奨する。

書記 若林成幸

## プロフィール

### ★ ポップンリンガーズ

障がいのある子どもたちが通う通園施設で知り合ったお母さんたちが、ポップンキッズとして立ち上げました。ボランティアで演奏活動をする中で、多くの方に出会いました。

メンバー全員が成人したのを機に、ポップンリンガーズに改名し、新たな音楽活動を目指しています。

### ★ 服部直樹氏(3月入会)

スペシャルオリンピックス日本・兵庫の  
西宮陸上プログラムのコーチ。

2017年に開催されたスペシャルオリンピックスの  
近畿ブロック大会の公式応援ソング「Run Run Run」  
の作者。

同曲の演奏をしている 24BluesBand のリーダー。

## 2017年度 YY フォーラム

冷たい小雨が降り注ぐ、2月10日(土)、神戸YMCAに於いて、「ひろげよう～

ブランディングから始まるYストーリー」と題して、久々に新館のチャペルで YY フォーラムが午後一時より開催され、我がクラブより、多胡葉子、青柳美知子、福田宏子の3名が参加した。

六甲部の7ワイズメンズ・クラブ、幼稚園関係者、リーダー会、カレッジ職員、ユース委員等、64名の参加があった。

昨秋、従来のYMCAのロゴマークが、新しくなり、YMCAのブランディング運動「みつかる。つながる。よくなっていく。」を掲げ、どのように我々が新しい考えに基づくYMCAと関わり、他の人達とポジティブに活動できるかを模索する時間が与えられた。

発題として、まず「私のYストーリー」として、四宮捷平氏(2017-18日本YMCAチェンジエージェント)により、昨年9月ポルトガル・リスボンで開催された世界YMCA同盟リーダーシップ育成プログラムに参加した経験の報告があった。次に、越生寛子氏(三宮ユースリーダー会、2017年度全国YMCAリーダー研修会参加)により、福島の小学生のキャンプ等を通して、「キャンプは社会の縮図」と報告された。

その後、6名で構成された班毎に「自分とYMCAとの関わり」と称して、自己紹介に続き、各部門(ワイズ、幼稚園、リーダー会、職員等)に分かれて、



「YMCA とどのように関わり、その活動を広め、PRするか」の理念のもと、一分間の動画作成となった。今回宝塚クラブ花組は、YMCAの新理念に基づき「みつかる」：一年の活動紹介、「つながる」：地域の方々、教会、リーダー、世界の友人、国際兄弟クラブの方々との交流、「よくなっていく」：

我々を含め、それぞれに関わった人たちの意識が変化し、向上していく・・・とPRし、例会への案内へと優雅に締めくくった。

その後、三木教会牧師、家山華子氏の司会で、神戸栄光教会伝道師 榮巖氏の奨励、聖書朗読、奏楽で閉会礼拝をおえた。

予想外のプログラムの内容にそれぞれのグループが歳を忘れ、童心に戻って挑戦し、楽しんでいる姿が印象的であり、清々しい気分小雨の中、YMCAを後にした。

福田 宏子

「はんしん自立の家」  
講演会報告

2018年2月25日(日)「はんしん自立の家」で開催された講演会に長尾メンと参加させていただきました。

講師の平林克敏さんは1985年に植村直己さんと共に日本人で初のエベレスト登頂をされた方で、昨年11月に同じく「はんしん自立の家」でそのエベレスト登頂の話をされたそうです。



今回はその以前よりあこがれていたチベットの聖地であるナムナニ峰の初登頂に1985年登山隊長として成功されたときのお話をたくさんの写真を見せていただきながら聞かせていただきました。

こうした夢を実現するには、自分が何をしたいのかを形にして常に前向きに行動し、決して諦めないで自分の身体の痛みを覚えながら体験する事が大事であると教えていただきました。

小林康男

他クラブ企画訪問

さんだワイズメンズクラブ  
バレンタインコンサート

毎年さんだワイズが地域活動として愛と優しさを音楽で届けようと取り組んでこられた2月のバレンタインコンサート。今年で25回目を迎えられた。2月3日(土)14:00～三田市総合文化センター郷の音ホールで開催され、宝塚から4人が聴きに行った。約400人の方々がホールは満席。ほとんどが三田の市民の方々が地域に根ざしたコンサートになっていることがわかる。

演奏は三田在住でピアニスト・現在同志社女子大学教授の中野慶理氏。モーツアルト、ベートーベン、スクリャーピン、ラフマニノフ、ショパンなどの曲が流れるようなタッチで我々の心の中に安らぎと心地よさを与えてくださる素晴らしい演奏のバレンタインコンサートだった。

帰りにはチョコレートが聴衆全員に配られ、余韻の残るピアノの音を温めて帰路についた。

多胡 葉子

【今月のみ言葉】

辻 建牧師

ワイズメンズクラブが、他のグループ、ライオンズクラブやロータリークラブと違う点はどこにあるのでしょうか。立っている基盤、それが失われると崩れてしまう基盤はなんのでしょうか。綱領を読んでもみると、それは「イエス・キリストの教えを基礎として」と書かれています。それはなにか符牒のようなものではありません。おおよそ人が集まって、なにか行動を起こすところでは、はじめは和気藹々と朗らかに始まりながら、そのうち自己主張や名誉争い、異なる意見の排除といった利己主義が頭をもたげ始めて分裂し、勢いを失ない、消滅す

るものなのです。それは人の背負っている宿命で、ワイズの歴史もそれを繰り返して来ましたが、いつもその危険性を胎んでいます。国家、政党、宗教、趣味のクラブみな同じです。それを克服するのが「イエス・キリストの教え」です。その教えはキリスト教をすら越えて、万民の生きるべき地盤を示しています。今月の聖書。キリストの教えすら突き抜けてという、そこが大事です。ここに立って生きることを神は望み、その霊ですべての人を包んでいるのです。その支配なしにはあらゆる利己主義は克服出来ません。

YMCA だより



寒さも緩んできましたが、毎年この時期は花粉にそして新年度準備に奔走しています。忙しさの中に自分の「心」も「亡くして」いないか、「忙」の漢字の形をみながら自分の点検をしないといけないと感じています。

2018年度の神戸YMCAの歩みとして、年間聖句に「すべての人を一つにしてください」(ヨハネによる福音書 17章 21節)を選びました。国家間のいがみ合い・緊張だけでなく、身近な地域の中でも貧困や虐待など、地域間・家庭内でも格差やずれが生じている今日に私たちYMCAが取り組むべき課題は山積しています。その中であって、イエス・キリストに示された愛と奉仕の精神に学びつつ歩んでまいりたいと思います。新しい年度も皆様と共に豊かな社会づくりを行ってまいります。

## 1. 発達支援セミナー

神戸 YMCA では、神戸市西区・中央区・西宮市で就学前の幼児期にある支援が必要な子どものための「児童発達支援事業」を、また西宮市で発達障がいがある小中学生の社会性や学習指導を行う「サポートプログラム」を行っています。そのような子どもの支援のための心構えを学ぶ発達支援セミナーをこの2年間行ってきましたが、4月には新たな様々な課題の子どもの支援にかかわりたい方向けのセミナーを開催します。関心のある方ぜひご参加ください。

日 時:4月28日(土)13:30~17:00

場 所:西宮 YMCA

申込方法などは神戸 YMCAHPをご覧ください。  
(<http://www.kobeymca.org/>)

## 2. YMCA YWCA イースター早天礼拝

今年のイースターは4月1日になります。毎年イースターには神戸のYWCA・YMCAにかかわる人たちが各教会の礼拝に先立ち、神戸東遊園地で祈り続けてきました。今年で96回目となる早天礼拝は、

日 程:2018年4月1日(日)7:00~8:00

祈り:井上正道伝道師(神戸教会)

説 教「見てないのに信じられる？」

場 所:神戸東遊園地、三ノ宮駅南側徒歩7分  
(雨天時、神戸YMCA三宮会館)

詳しくは神戸 YMCA ホームページに掲載を行います  
(<http://www.kobeymca.org/>)

## 3. 「みんながつながる」YMCA デー

(YMCA 協賛 阪神タイガース主催試合)

日 時:2018年4月14日(土)14:00~(予定)

場 所:阪神甲子園球場(対ヤクルトスワローズ)  
東日本・熊本大震災の継続的な支援のため、また被災された方々が復興に向けて少しでも元気が出るよう、YMCA 協賛の阪神タイガース主催試合を実施します。被災された方々100名を甲子園に招待し、ご支援いただく皆様とゲームを観戦

し、1日を楽しく過ごします。是非、皆さまお誘い合わせの上でご参加、ご協力くださいますようお願い致します。

第21回西日本区大会  
実行委員会コーナー

【チャリティ協力】

一口)大人 4,000円、

子ども(4歳～小学6年生)2,500円

- ①まずは4月14日(土)のご予定を空けておいてください。
- ②チャリティにご協力いただき、甲子園へ行って頂ける方を一人でも多くお誘いください。
- ③申し込みの方法について別途お知らせ致します。

4. 会館建築募金感謝

11月にも井上真二神戸YMCA総主事から感謝を述べさせていただきましたが、3年間にわたり、神戸YMCAの新しい計画について建築募金を呼びかけさせていただいたところ、募金総額: 62,403,847円、募金総件数:1,017件の募金、ご厚意をお寄せいただきました。すでに2015年度からはファミリウエルネスセンターが、そして2017年度からは神戸YMCA三宮会館が始動しています。

ワイズの方々を筆頭に多くの方に支えられ新たな歩みができること感謝します。ブランディングも新たに始まりましたが、ともに「みつかる。つながる。よくなっていく。」の歩みを強めていただくよう今後もお支えお願いいたします。

実行委員会は回を重ねて2018年2月26日で14回になりました。前回に続き今回も当日、何処の場所に何人の人員が必要かと言う具体的なイメージを頭に描いて討論しました。幸い、会場のANAクラウンプラザホテル神戸は新幹線、神戸市営地下鉄の新神戸駅に直結していて案内はこの2カ所で済みます。又、全プログラム(担当主事連絡会を除く)はホテルの9階、10階でエスカレーター移動だけですのでその点も案内は楽でしょう。では人手は要らない? そうではないのです。

700名以上のワイズ仲間の受付を、おまけに一斉に集中するのを処理するのに何名必要か、何かのイレギュラー発生時には誰が対応するか、大切なバナーセレモニーに登場する役員、会長など90名近い人達をスムーズに案内、登壇が出来るようにするには何名必要か、等々読めない部分がたくさんです。会長さんが一人まだ来てない、探しに行かないと、なんて事になると捜索隊に人が要ります!

六甲部メンバー全員がスタッフとして動いても多すぎると言う事はないのでは、と感じています。

宝塚クラブは主に懇親会を担当することになりますが、みなさん、何が起こるか分からない西日本区大会を裏方としても楽しみましょう!

実行委員長 石田由美子